



第301号

2014年(平成26年)2月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

渉外部 からのお知らせ

平成25年度 第2回 献血推進活動

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数



「献血」・「献血推進」・「市民への呼びかけ」(大臨技ティッシュ配布)

2月のもっとも寒い時期でもあり、血液製剤の適正在庫の確保が困難になっております。
このような時期にこそ医療に関わる我々が率先して献血に関わるべきであるとスタートした献血推進活動、今年度2回目です。今回も自らが献血できる方はもちろん、献血はできないけれど市民の方への呼びかけを手伝ってくれる方など多くの会員のみなさまのご参加をお待ちしています。
なお会員の方は献血会場にお越しの際、行事参加登録いたしますので、大臨技献血スタッフにお声をかけていただきますようお願い申し上げます。

日時
平成26年2月15日(土) 10:00~16:30
会場
難波グリーンガーデン(南海難波駅北すぐ) 他献血会場
献血会場
① 難波グリーンガーデン 献血車(400ml採血限定)
10:00~16:30
② まいどなんば献血ルーム
10:30~13:00・14:00~18:30
連絡先
市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
Email: akane@mub.biglobe.ne.jp



・ 献血のみ、街頭呼びかけのみでも行事参加登録いたします。
・ 10:00~16:00 に 難波グリーンガーデンにて行事参加登録受付いたします。大臨技献血スタッフに声をかけてください。

皆様のご協力 よろしくお願いたします。

第31回 中央支部自由集会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 「マイコプラズマ(MP)感染症の最近の診断法」 「MPのイムノクロマト法及びLAMP法の評価」

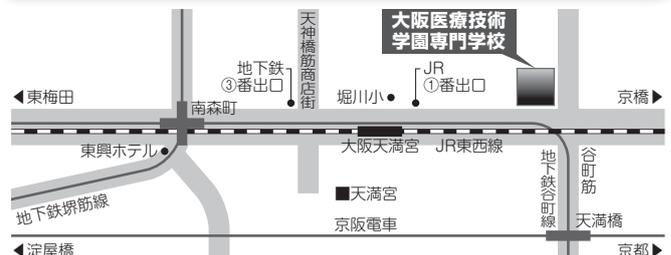
マイコプラズマ感染症の迅速検査法は、従来であれば、迅速抗体検査法が中心であったが、最近では、迅速抗原検査法イムノクロマト法(約15分判定)及びLAMP法(栄研化学)が発売され、臨床的にも注目されています。特に迅速抗原検査法(アルフレッサ・旭化成の2社が発売)では、短時間で検査が実施できることもあり、徐々に使用する施設が増えている状況です。

これらをふまえて状況報告をしていただきますので、各施設の技師の方々の参加をお待ちしています。

内容

1. 「マイコプラズマ感染症の迅速抗原検査の評価」
講師: アルフレッサファーマ株式会社 診断薬情報室長 足立 浩
2. 「マイコプラズマ感染症の迅速抗原検査の評価」
講師: 旭化成ファーマ株式会社 診断薬製品部 総括 福田 剛久
3. 「マイコプラズマ感染症のLAMP法の評価」
講師: 栄研化学株式会社 マーケティング推進室 上野 潤二

日時 平成26年2月1日(土) 14:00~17:00
(受付13:30~)
会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
参加費 会員500円、非会員1,000円
定員 会場の関係で60名とさせていただきます。
連絡先 中央支部長 大阪府済生会野江病院 臨床検査科 森 啓悟
E-mail: kensa@noe.saiseikai.or.jp
TEL: 06-6932-0401(内線280番)





検査部(室)を発展させるためのデザインを考える —検査部での人財(材)教育と検査効率を向上させるために—

過去の学術部講演会は各種疾患に対し、各方向(部門)よりその疾患を捕らえ如何に考えるかを見てきました。今回は一度、視点を変え検査部(室)の対面する問題点を考えてみたいと思います。検査部を取り巻く環境は日本経済と同様、高度成長の時代がありその後、厳しい状況に立たされそれが長く続いています。

経済はアベノミクスで回復の基調がありますが検査部ではそのような明るい兆しはありません。そのためには、現在の検査部を改革する必要があります。検査部の人財(材)を効率よく活用することによって検査部をアピールする必要があります。また、検査部の収益は、施設の規模によって異なりますがおおまかには施設の総収入の10%前後を占めると考えられます。

医療費の大幅な増加は望めませんので収益率を高める必要があります。そのためには検査部の支出を考え、如何に押さえるかが重要です。そのためにはネガティブな発想ではなく攻める事により検査部を発展させる事を考えることが重要です。

今回は、人材を育成するための教育プログラムを提示して頂き、効率よい人材育成を、また無駄を考えることによって収益向上を考えこの企画を計画しました。ぜひ、多くの方の参加をいただきディスカッションをしていきたいと考えています。

内容

第I部 (14:30~15:50)

教育を如何にするか

講師(予定): 各検査部門の教育担当者

第II部 (16:00~17:30)

検査部(室)の効率を考える

—無駄を如何に削減するか—

講師(予定): 検査部(室)、メーカー、事務医事部門担当者

日時

平成26年3月1日(土) 14:30~17:30

会場

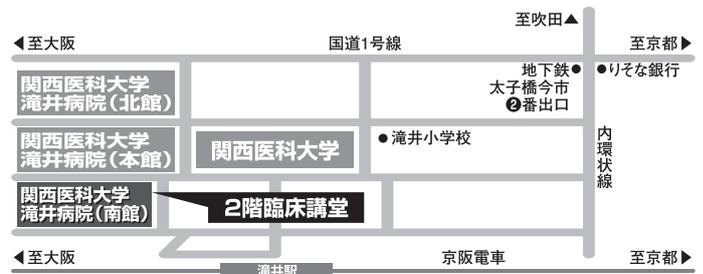
関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂

参加費

会員500円(非会員は別途資料代として500円が必要です。)

連絡先

関西医科大学附属香里病院 臨床検査部 高田 厚照
E-mail takada@kouri.kmu.ac.jp



学術部 緊急検査部門からのお知らせ

第5回 緊急検査部門講演会

緊急検査！総まとめ

25年度緊急検査部門最後の勉強会は、欲張り企画「緊急検査！総まとめ」と題して緊急検査でおさえておきたいPOINTを検体検査と生理検査から、お届けします。お役に立つこと間違いなしです!! 皆様のご参加を心よりお待ちしております。

① 総まとめ！緊急検査での必ずおさえておきたい検体検査のPOINT

講師 近畿大学医学部附属病院 前田 岳宏

プログラム

② 総まとめ！緊急検査での必ずおさえておきたい生理検査のPOINT

講師 枚方共済病院 藪 圭介

日時

平成26年2月4日(火) 18:30~20:00

会場

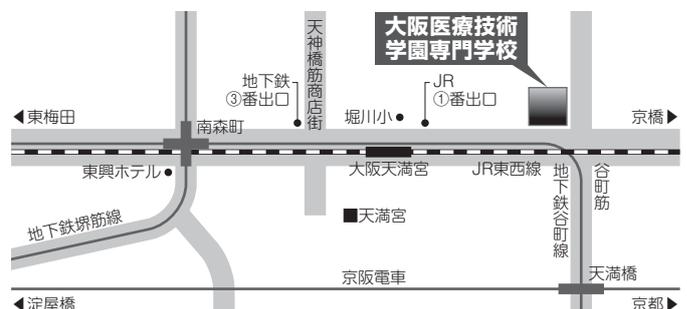
大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費

会員500円(非会員は別途資料代として500円が必要です。)

連絡先

大阪府立中河内救命救急センター 津田 喜裕
E-mail nmcam-lb2@nmcam.jp



第24回 糖尿病療養指導士講演会

今回グループによる症例検討会を企画しました。糖尿病の勉強を始めたばかりの人にもわかりやすく症例の見方を解説していただき、療養指導について学びます。

患者さんと接する機会の少ない方にとって糖尿病の知識と臨床を結びつける絶好のチャンスです。また他職種とディスカッションすることで職種による視点の違いを発見することもでき、今後のチーム医療の推進に役立つと思います。多くの方の参加をお待ちしております。

Theme これでは怖くない 症例検討会

日時 平成26年2月23日(日) 13:20~17:00
(12:45~受付)

会場 大阪大学中之島センター 10階ホール

参加費 500円(一律)

共催 アークレイマーケティング株式会社

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

プログラム

- 13:20~13:30 開会挨拶
大阪府臨床検査技師会 会長 連天 政五郎
- 13:30~13:45 糖尿病関連商品のご紹介
「新しい糖尿病療養支援システムの紹介」
アークレイマーケティング株式会社
- 13:45~17:00 (休憩15:00~15:10)
参加型糖尿病講演会
「参加してみよう症例検討会」
講師：大阪府立急性期・総合医療センター
糖尿病代謝内科
主任部長 馬屋原 豊

事前申込制

申込み方法 勤務先、職種、氏名(フリガナ付き)、CDEJの有無を書いて下記まで送信してください。

申込み先 糖尿病療養指導士講演会 事務局
アークレイ マーケティング株式会社大阪SSO内
高橋 直也 宛
FAX: 06-6312-3813
※FAXの返信がない場合は参加可とご判断ください。
※個人情報は会の運用のみに使用します。

申込み期間 平成26年1月10日(金)~2月10日(月)

本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として、
<第2群>糖尿病療養指導研修 1単位(申請中)あるいは、
<第1群>自己の医療職研修単位-臨床検査技師-1単位
どちらか一方で認定申請可能です。
「日本糖尿病療養指導士受験ガイドブック」をお持ちの方は持参してください。

第30回 技師長会のお知らせ

インターネットやSNSが普及するなか、病院の技師長は本当に必要な情報を得られていますか。今回は新鮮な情報の取得とコミュニケーションスキルの活用に重点をおいた課題です。ふるってご参加いただきたいと思います。

Theme 「検査技師長にいま必要とされているもの…」

第1部 座長: 城山病院 臨床検査室 池田 勝美

情報提供1 「国策としての医療情報システム標準化推進
~医療システム標準ガイドラインIHE~」

情報提供2 講師: 大阪医科大学 購買・物流部 井口 健

「平成26年診療報酬改定 最新情報」

講師: シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
営業戦略本部 キーアカウントグループ 松尾 久昭

特別講演「コミュニケーションスキルの重要性」

講師: 医療法人福甲会やましたクリニック 臨床検査科
猪俣 啓子

第2部 情報交換会(実費)

講演会終了後、場所を変えて情報交換会(参加費実費)を予定しています。

日時 平成26年2月22日(土) 14:00~17:00

会場 関西医科大学附属滝井病院 本館6階臨床講堂

対象 技師長・副技師長・主任検査技師・賛助会員

参加費 大臨技および近畿支部会員500円
(その他非会員は別途、資料代として500円が必要です。)

定員 120名

募集要綱 会場準備の都合上、事前申込みとします

申込み期間 平成26年1月29日(水)~2月19日(水)

申込み方法 下記事項を記入し、FAXまたはEメールにてお送りください。

- ①氏名 ②施設名 ③役職名 ④メールアドレス
- ⑤情報交換会参加の有無 ⑥会員番号
- ⑦会員区分(大臨技・日臨技など)

連絡/申込み先 大阪府立成人病センター 臨床検査科 井戸田 篤
FAX: 06-6981-8377
Email: idota-at@mc.pref.osaka.jp



評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

学術部 検体管理システム部門 からのお知らせ

平成25年度 大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告

「大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会」

現在の医療において臨床検査データの標準化は必須の課題です。この現状をふまえ、大臨技標準化推進委員会は大阪府下の各施設に対して標準化の情報提供だけでなく、精度管理で悩んでいる施設の方々には同じ視点に立って問題解決に努めていきたいと考えております。

今年9月に第6回大臨技精度管理調査を実施しました。日臨技が進める日臨技精度保証施設認定精度に対応するため、昨年度より調査項目を大幅に増やした2回目の精度管理調査となっております。つきましては標準化推進事業に参加されたご施設、この事業にご興味のある多くの方々にご参加いただき、今回の標準化推進事業および事業報告等についてご意見を頂戴し、会員の皆様に有用なよりよい事業にさせていただきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成26年2月8日(土) 14:30~17:00

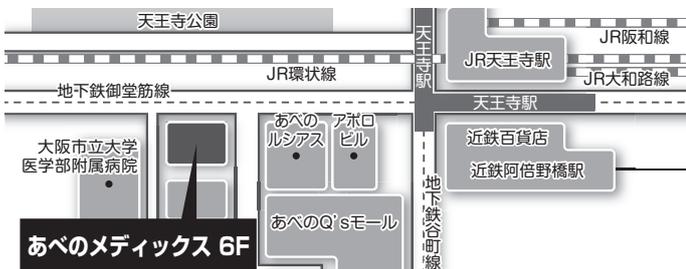
会場 あべのメディックス 6階ホール

参加費 会員500円、非会員3,000円

連絡先 大阪厚生年金病院 中央検査室 竹村 真俊

E-mail: m-takemura@okn.gr.jp

TEL: 06-6441-5451(内線2345)



司会 多根総合病院 竹浦 久司
天理医療大学 山西 八郎

14:40~16:00

1. 平成25年度大臨技精度管理調査結果報告

1) 評価方法及び臨床化学項目①

講師: 松下記念病院 中島 康仁

2) 臨床化学項目②

講師: 大阪赤十字病院 山本 裕之

3) 血液項目

講師: 市立岸和田市民病院 杉山 昌晃

16:10~17:00

2. イムノアッセイの精度管理について考える

講師: バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

診断薬事業部 マーケティング部 植村 康浩

学術部 輸血検査部門 からのお知らせ

輸血セミナー 2014

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

今回の輸血セミナーは会員の皆様からのアンケートで要望の多い、さまざまな状況における輸血療法についての講演を企画しました。

「生着に至るまでの造血幹細胞移植患者さんは、どの血液型の製剤を用意したらいいの?」「緊急輸血や大量輸血が必要な場面って、どんなことが起こっているの?」「輸血部門は何を考えたか血液を供給したらいい?」などの疑問にお答えする5つの講演をそろえました。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

10:00~11:00

講演1「同種造血幹細胞移植について」

講師: 大阪市立大学医学部附属病院 血液腫瘍制御学
(血液内科・造血幹細胞移植科) 日野 雅之

11:00~12:00

講演2「血液型不適合造血幹細胞移植時の輸血管理」

講師: 大阪市立大学医学部附属病院 輸血部 藤野 恵三

12:00~13:00 昼休憩(昼食は各自でご用意ください)

13:00~14:00

講演3「術中輸血管理について」

講師: 大阪市立大学医学部附属病院
麻酔科・ペインクリニック科 池田 優子

14:00~15:00

講演4「救急領域における輸血療法」

講師: 関西医科大学附属滝井病院 救急医学科
早川 航一

15:00~16:00

講演5「産科領域の輸血の実際」

講師: 大阪医科大学附属病院 産婦人科学教室
藤田 太輔

日時

平成26年2月8日(土) 10:00~16:00

会場

大阪医科大学北キャンパス 看護学部看護学科 講堂

参加費

会員3,000円、非会員4,000円

連絡先

大阪府済生会中津病院 検査技術科 深田 恵利奈

E-mail yuketsu_osaka@yahoo.co.jp



第28回 大阪病理技術研究会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 『目指せ！エキスパート病理技師』

今回は下記プログラム内容にて研究会を開催します。病理検査に関わる様々な業務を取り上げ、多くの方に関心を持っていただける内容であり、幅広い知識の習得に役に立ちます。また例年同様に10数社の病理関連メーカーも資料展示参加しており、情報交換の場に有効ですので、みなさまぜひご活用ください。

若手の技師さんからベテランまで、病理検査に興味のある方の参加をお待ちしております。なお、終了後には懇親会も開催しますので、研究会に引き続きご参加ください。(懇親会は当日受付します)

日時 平成26年2月23日(日) 13:00~17:00

会場 日生病院 別館1階講堂

参加費 会員1,000円

(非会員は別途資料代として1,000円、合計2,000円が必要です。)

※近畿支部の地臨技会員証を必ず提示してください。

日臨技の会員証のみでは非会員扱いとなります。

連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 検査部 三原 勝利

E-mail: kattu310a@gaia.eonet.ne.jp

プログラム

1. アルシアン青染色ミニサーベイ結果報告
講師：大阪市立大学医学部附属病院 佐々木 政臣
2. 病理解剖における介助者の役割
講師：関西医科大学 病理解剖教室 江川 宏征
3. 組織切片自動作製装置AS-400Mのご紹介と導入事例
講師：倉敷紡績株式会社 バイオメディカル部 種子田 秀一
4. 標準作製をサポートする全自動連続薄切装置とは
講師：サクラファインテックジャパン株式会社 マーケティング本部 藤本 幸司
5. 病理一級臨床検査士資格認定試験体験記
～どのような試験なのかを中心に～
講師：神戸大学医学部附属病院 病理部 山田 寛
6. 病理廃液の適正処理(有機溶剤、毒劇物を中心に)
講師：藤田保健衛生大学病院 病理部 平澤 浩
7. 免疫組織化学 酵素抗体法多重染色 基礎と応用
講師：神戸大学医学部附属病院 病理部 柳田 絵美衣



地下鉄 中央線・千日前線「阿波座駅」下車西側(6)号出口約3分
長堀・鶴見緑地線「西長堀駅」下車西側(4)A号出口約6分

微生物検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

2013年度 微生物部門ミニ学会

講師 部会世話人

2013年度の最終定期講習会は、昨年度に引き続きミニ学会を開催いたします。各種演題を学会形式で発表していただきます。

日時 平成26年2月27日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 500円(非会員は別途資料代として500円必要です)

内容 症例発表等

連絡先 大阪赤十字病院 検査部 市村 佳彦

E-mail: triplets-kazu-nao-aki@nifty.com

ICT 部会講習会

講師 ICT部門 世話人

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 「アウトブレイク～発見から終息まで ～MRSA・クレブジエラ・セレウスの3事例」

平成25年度、第2回目のICT部会講習会を開催いたします。前回、『微生物検査室がなくてもここまでできる感染対策』をテーマに講習会を開催させていただきました。各施設で微生物検査データの集計が行われていると思いますが、今回の内容としましてどのようにしてアウトブレイクを発見し、終息すればよいかを理解していただけるように、3件の事例を紹介いたします。

実際に起こった事例ですので医療関連感染の多い施設の方も、アウトブレイクを経験されていない施設の方もぜひご参加ください。

日時 平成26年2月28日(金) 18:30~20:00

会場 大阪市立大学医学部学舎 6階中講義室2

参加費 500円(一律)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 中家 清隆

E-mail: m1357265@med.osaka-cu.ac.jp



臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 「糖尿病の基礎と最近の話題」

今年度、最後の臨床化学の講演会は糖尿病についてです。基礎から最近の見まで幅広く講演していただきます。皆様お誘いあわせのうえ、ふるってご参加ください。

日時 平成26年2月13日(木) 18:30~20:00

会場 大阪市立大学医学部 4階小講義室1

参加費 500円(非会員の方は別途資料代として500円必要です)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則

E-mail: shigei@med.osaka-cu.ac.jp

講師 積水メディカル株式会社 松本 美枝

平成25年度 日臨技近畿支部 臨床化学検査研修会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

主催 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

実務担当技師会

一般社団法人 福井県臨床検査技師会

Theme 「検査室および個人の検査力を高めよう！」

日時 平成26年2月23日(日) 10:00~16:10
(受付9:00~)

会場 プラザ萬象 小ホール
〒914-0047 福井県敦賀市東洋町1番1号
TEL:0770-22-9711
※JR敦賀駅より徒歩約8分、駐車場あり(無料)

定員 100名

参加費 会員 2,000円(テキスト代込)

非会員 4,000円(テキスト代込)

※ 当日受付にてお支払いください。

※ 各地区臨床検査技師会会員のみの場合は、非会員扱いとなります。

連絡先

〒914-0058 福井県敦賀市三島町1丁目6-60
市立敦賀病院 医療技術部 検査室 東 正浩
E-Mail: b-kensa@ton21.ne.jp
TEL: 0770-22-3611 (内線 4240)

プログラム

9:00~10:00 受付

10:00~10:10 開講式・オリエンテーション

第1部 (午前) 真の検査室および個人の実力向上のために

10:10~11:00 検査力向上のために必要な取り組み

講師: シスメックス株式会社 学術情報部 認証サポートセンター 須崎 有起子

11:00~11:50 検査力向上のための手段 ~SOP作成と内部監査の実施~

講師: ファルコバイオシステムズ総合研究所 藤本 一満

ランチョンセミナー

12:00~12:45 リウマチおよびリウマチ関連検査(MMP-3など)について

講師: 積水メディカル株式会社 CSC学術西日本グループ 金田 幸枝

第2部 (午後) 臨床化学検査における注意事項と検査値診断学

13:00~14:20 臨床化学検査における「船中八策」(初級編)

臨床化学検査担当の初心者及び日当直者を対象とし、臨床化学検査の異常値事例を挙げ、本当に患者の病態を反映しているのか、他の原因があるのか?その原因探索をしながら比較的良好に遭遇する臨床化学検査のピットホールを本研修で学びます。

福井赤十字病院 検査部 猿木 邦之

講師: 宝塚市立病院 中央検査室 中野 幸弘

社会保険滋賀病院 検査部 山出 忠彦

14:30~15:50 臨床検査技師が行う検査値診断学(R-CPC)

検査室は医師からの問合せに対し、臨床化学検査値だけで病態を推測し、的確な返答あるいはアドバイスをする必要があります。今回、実践型検査値判読トレーニングの研修を行います。

大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 上野 信弥

講師: ファルコバイオシステムズ総合研究所 中村 美保

奈良県立医科大学医学部附属病院 中央臨床検査部 永江 亜紀子

16:00~16:10 閉校式・終了証授与

申込み
期間

平成25年12月16日(月)~ 2月9日(日) まで

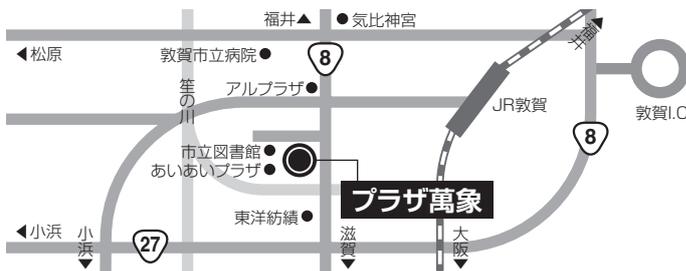
申込み
方法

日臨技ホームページからの「事前登録」をご利用ください。

なお、「事前登録」が困難な方は以下の必要事項を記載のうえ、E-mailにてお申し込みください。

必要事項: ①氏名(ふりがな)、②所属技師会、③会員番号、④施設名
*E-mail環境のない方は連絡先までお問い合わせください。

E-mail: b-kensa@ton21.ne.jp



公開講座

大臨技 合同開催 生殖医療技術部門 講演会

Theme 『不妊治療について学ぼう!! —診断から治療まで—』

講師 大阪鉄道病院 婦人科 坂井 昌弘

日時

平成25年3月19日(水) 18:45~19:45

会場

大阪鉄道病院 3階会議室

セキュリティの関係上、ご面倒ですが入館の際に守衛室で講演会参加の旨を申し出て、入館名簿に氏名等のご記入をお願いします。

参加費

無料

連絡先

大阪鉄道病院 臨床検査室 内野 義彦
TEL 06-6628-2221 (内線 5165)

不妊治療の診断から治療まで、わかりやすく解説していただきます。また近年、不妊治療を受けられる患者さんの高齢化が問題となっています。高齢患者に対する不妊治療の現状についても解説していただく予定です。

当講演会は臨床検査技師だけでなく、一般の方や他職種の方の参加も大歓迎!!

皆さまお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしています。



Report

平成25年度 HIV 予防啓発講演会 報告

平成 25 年 11 月 30 日 (土) 日本医療学院専門学校にて HIV 予防啓発講演会を開催しました。日本医療学院専門学校の学生さんを中心に多くの方々に参加していただき、大阪府 健康医療部 保健医療室 地域保健感染症課 感染症グループ 田中 佐代子 先生 から「HIV 感染症の現状や予防」、大阪府立公衆衛生研究所 ウィルス課 森 治代 先生 から「HIV 感染症の検査と治療」の内容で講演をしていただきました。

当会公益事業といたしましても予防啓発活動が重要となっています。今後とも会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

日本医療学院専門学校 1年 村上 絵理

私は、今回の HIV の講義を受けるまで AIDS は自分にとって全く関係のない病気だと思っていました。しかし、大阪府での HIV 感染者が全国 2 位であることや、2 日に 1 人のペースで感染者が発覚していることを知り、自分が HIV に感染しないという保証はないと改めて感じました。

数年後、医療従事者になったときには、HIV 感染者の方の検体を取り扱う際には正しい知識をもち、検査をしていきたいと思えます。



日本医療学院専門学校 2年 東 隆史

11 月 30 日に本校を会場として行われた講演会に参加いたしました。ちょうど学内でも免疫学の講義において HIV および AIDS の内容に差し掛かったこともあり、一段と興味深く聴くことができました。講演会を聴き終えて改めて思ったことは、予防は比較的容易であるにも関わらず徹底できていないこと、日本は先進国の中でも唯一、感染者数が増え続けていることを残念に思いました。ただ恐れるのではなく、正しい知識の普及と啓発に努め、「正しく恐れる」ことの大切さを強く実感でき、とても有意義な時間でありました。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成25年度 第9回(12月12日)開催分

1. 公益社団法人に合わせて組織運営規程の見直しを検討する。
2. 大阪府内の日臨技季刊誌配布協力施設を12月中に決定する。
3. 大臨技登録学生(oems)の制度案を検討している。
4. 大阪府と大阪市の衛生検査所精度管理専門委員を当会から推薦する。
5. 大臨技部会の議事録をHPで閲覧できるように検討する。
6. 報告事項
 - 1) 大臨技事業がブッキング対策としてスケジューラー運用方法を検討した。

- 2) 大阪府地域医療推進協議会が12月9日に開催され、以下の決議を行った。
 - ・ 国民会保険制度を堅持する
 - ・ 医療に不平等をもたらさない
 - ・ 混合診療の全面解禁はしない
 - ・ 営利企業を医療機関への参入させない
 - ・ 医療における消費税問題を抜本的に解決させる
 - ・ 医療財源を確保する
 - ・ 経済活動を優先した安易な規制緩和を行わない

大臨技事務局からのお知らせ

■平成26年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と大臨技のみで入会されている方とは、会費の金額や納入方法が異なりますので、ご注意ください。大臨技ニュース（12月・1月号）、大臨技ホームページに会費納入について掲載しておりますので、熟読のうえ、ご対応ください。大臨技のみに入会されている方は、平成26年2月28日（金）までに会費を納入くださいますようお願いいたします。（2月28日までに納入されましたら大臨技会員証を4月にお届けできます。それ以降に納入されますと会員証の発送が遅れますのでご了承ください。）日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技で平成26年2月27日（木）に会費が引落しされますので、銀行口座の残高をご確認ください。詳細については、日臨技ホームページで「会費納入手続きのお願い」をご確認ください。

■平成26年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」について

大臨技賠償責任保険に加入される方は、「加入依頼書」の提出と保険料の納入をお願いいたします。その両方が確認できましたら、加入手続きをいたします。詳細については、大臨技ホームページの「大臨技臨床検査技師賠償責任保険について」をご覧ください。

■大臨技退会申請について

平成25年度で退会を希望される方は、平成26年3月31日までに退会の申請を行ってください。大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、大臨技事務局までご提出ください。日臨技にも入会されている方は、日臨技と大臨技の両方に退会の申請を行ってください。

■大臨技会員証について

平成25年度分の会員証の発行は10月発送分をもちまして終了いたしましたので、ご了承ください。会員証の代わりとして、「会員登録証明ハガキ」を発行いたしますので、こちらを会員証としてご使用願います。ハガキが届くまでは、お振込みされた時の受領証、もしくは日臨技ホームページより発行した領収証で代用願います。

■大臨技会員証の再発行について

紛失等により会員証の再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「大臨技会員証再発行申請書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当会事務局まで郵送又はFAXにてご提出ください。それと共に、再発行費500円をご納入ください。その2点を確認いたしましたら、お手続きいたします。10月以降に関しては、「会員登録証明ハガキ」で対応させていただきます。

■臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許を取得されましたら、大臨技ホームページより「臨床検査技師免許証番号届出書」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、当会事務局までご提出ください。現在は仮登録の状態ですので、免許証番号をご連絡いただきましたら、正会員として正式登録いたします。届出が無い場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。

■施設・技師会・住所等の変更について

施設の異動・転入・転出による技師会の変更、転居による住所変更など、登録データに変更が生じた際は、速やかに当会事務局までご連絡ください。「会員異動届」「施設登録用紙」は大臨技ホームページよりダウンロードできます。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

Personal
Use

あなたの「いつも」を快適に。

シンプルな操作で血糖測定を実現 経済性にも配慮しました

自己検査用グルコース測定器

ツールピコ

ニプロTRUEpico®



ブルー

ピンク

ブラック

自己検査用グルコースキット

ツール

ニプロTRUEセンサー®



ボトルに装着可能

特長

- 必要血液量:0.5μL、測定時間:約4秒
- 測定範囲:20~600mg/dL
- 小型・軽量(17g)
- 初期設定不要(時刻合わせや環境設定がありません)

■ニプロTRUEpico® 医療機器承認番号:22500BZX00118000 高度管理医療機器(クラスⅢ)、特定保守管理医療機器
■ニプロTRUEセンサー® 医薬品承認番号:22500AMX00894000

単回使用自動ランセット

ニプロLSランセット

New

セーフティシリーズ



25G
1.0mm

28G
1.0mm

30G
1.0mm

■医療機器認証番号:224AABZX00195000
管理医療機器(クラスⅡ)

○使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。



NIPRO

製造販売

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製品に関する
お問い合わせ先

やさしい ニプロ
☎0120-834-226

9:00~17:30(土・日・祝祭日を除く)

※電話番号をよくお確かめの上、お掛けいただきますようお願い致します。

2013年8月作成

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成26年3月号の原稿メ切は2月1日(土)、4月号は3月3日(月)です。